

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こばんはうすくら 浜松恩地教室
------	-----------------

公表日 令和8年2月20日

利用児童数 20

回収数 19

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子供用の遊具などがあると良いなと思います。 ・外に運動ができる場所があると嬉しいです。 ・子どもたちには程良いスペースだと思います。 ・ひとつの部屋で全てが完結されるがまずはひとつの場所でルーティングが作れることから始めるしハードルも子供にとってもハードルが高くないと思う！お散歩など季節の行事などもしっかりとしてくれるで満足感あると思います！ ・人数的にはちょうどいいのではないか ・十分な広さだと思います ・活動ごとにスペースを分ける工夫もされていて良いと思います。 ・児童発達支援と放課後等デイサービスで活動場所が分かれているので良いと思います ・アカフ件も声あります！ 	活動ごとにスペースを分ける工夫や、支援区分ごとの活動場所の分離についても、引き続き安全面・発達段階に配慮しながら運営してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・十分に目が行き届いているので安心して利用出来ます。 ・よく見えてくれていると思います。 ・一人ひとり丁寧に見ていただけていて、適切だと思います。 ・怪我や喧嘩をして帰ってくるとやはり心配。。保育園に通わせないからこそ元々注意が必要な子達がいる中とわかつているからこそすぐ止める位置にはいて欲しい ・丁寧に見ていただいているので適切だと思います ・子供の人数に対しては、ちょうどいいだと思います。 ・丁寧に対応してもらっていると思います。 ・先生たちの言葉がとても分かりやすくて子供や親にでも寄り添っていてとても嬉しいです。 ・生徒に対して、先生の人数は決められていると思うが、軽度、重度でも配置人数は変わつてもいいのでは？とは思う。ただ、その説明が今まであったわけではないので詳しいところ 	<p>職員が子ども一人ひとりの様子に目を配り、安全面に十分配慮した支援を行ってまいります。</p> <p>特に、怪我やトラブルが起こりやすい場面においては、速やかに対応できる距離での見守りを徹底してまいります。</p> <p>また、職員配置についても法令に基づいた基準を遵守しつつ、子どもの特性や活動内容に応じた役割分担を行い、より安心できる支援体制の構築に努めてまいります。</p> <p>併せて、職員配置基準や支援体制について、保護者の皆さまに分かりやすくお伝えできるよう、説明の機会を検討してまいります。</p>
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・シンプルな作りで余分な物を置かず何をするべきか分かりやすいと思います。 ・活動内容によって、場所を変えたり、工夫している印象です。 ・バリアフリーで過ごしやすく、子どもたちにも分かりやすいと思います。 ・シールなどを使ったりよく出来ていると思います！ ・イラストなどで区別されて良いと思います ・ラグで支度をする場所、活動する場所と分けていると聞きました、子どもにとってどこで何をするのか、視覚で分かりやすいと思いました。 ・下駄箱や荷物置き場も個人マークが決められており、本人もこの絵柄は自分のマークと認識できています。 ・また、情報共有もしっかりしてくださっている。 ・場所が分かりやすくなっています ・なかなかできていないかなあって思います。 ・分かりやすく、子供が覚えやすい工夫がされていると思います ・何をどこに置くかを明確に決めていると思うので、子供も 	<p>シンプルで整理された空間構成や、イラスト・個人マーク・シール等を用いた視覚支援については、子ども一人ひとりの特性に配慮しながら継続してまいります。</p> <p>また、活動や支援の場面によって分かりづらさが生じていないかを職員間で定期的に確認し、必要に応じて環境設定の見直しや改善を行ってまいります。</p>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも楽ししそうに帰ってくるので心地よく過ごせていると思います。 ・いつも清潔に保たれている印象です。 ・急にお迎えに行かなくちゃ行けなくなつた時など見学を少しお願いする時もありますがいつ行っても綺麗で先生方には感謝しています ・毎回部屋の中を確認しているわけではないのでわからないです ・靴箱が下の方にあり、年齢に応じて、個人のスペースを確保してもらっています ・子どもが集まるように配置されていると感じました。 ・清潔であると思います ・なるべくものは片付けたりしてから新しいもので遊んでいるようにしています。 ・施設ができたばかりもあるので、室内は綺麗です。 	<p>活動前後の整理整頓や玩具の管理を徹底し、集中しやすい環境づくりを継続してまいります。</p> <p>また、保護者の皆さまが施設内の様子を把握しにくいくらいについては、必要に応じて環境面の取り組みや日常の様子をお伝えできるよう工夫してまいります。</p>
	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	16	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・他の施設を見学に行きましたが、しっかりと支援が行き届いていると思います。 ・子供に合わせて指導してくれていると思います。 ・苦手な事、嫌がる事にも丁寧に対応していただいていると思います。 ・進われるようになってから成長を感じることが沢山あります、うちだけの生活ではとてもそこまで成長を見られたかはわかりません ・療育に通い始めて、成長を感じることが多いので、専門性のある支援が受けられていると思いました ・子供の苦手なことを中心に支援が受けられている。 ・丁寧に対応していただいていると思います ・理解力がなかなか困難だったのかだんだん良くなっていますかなかあって思っています ・受けられていると思います ・あまり、特性について先生方からの意見がもらえない ・実際職員がどのような資格を持ち、教育を受けて子供と接しているのかが分からぬいため、ただ普通の幼稚園、保育園とやることは変わらないが先生の人数が多いだけ、という印象は受けます。 ・参観会とかがないから全くわからない 	<p>保護者の皆さまから成長を実感されているとの声を励みに、専門性を意識した支援の質の向上に努めてまいります。</p> <p>一方で、支援の内容や子どもの特性、職員の専門性について分かりにくいうござ意見を受け、今後は個別のフィードバックや情報提供の方法について見直しを行い、より分かりやすくお伝えできるよう検討してまいります。</p> <p>また、支援の様子を知りたい機会についても、今後の課題として検討してまいります。</p>

適切な支援の提供	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・合ってると思います。 ・難しい事はあまりわかりません、無知ですいません ・実際にどのように支援しているかが、分からぬことがあります。紙面上だけのやり取りを感じてしまう。 ・これはやってくれるのかな~ ・できることが増えています 	<p>支援内容や関わり方が分かりにくく、紙面上だけのやり取りと感じられるというご意見を受け、今後は日々の支援の様子や取り組みについて、より具体的に分かりやすい形でお伝えできるよう工夫してまいります。</p> <p>専門的な内容についても、難しい言葉を避け、保護者の皆さまに理解していただきやすい説明を心がけてまいります。</p>
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・作成されていると思います。 ・よく出来ていると思います！感謝しています！ ・作成されていると思います ・相談支援事業所も含め、細かく話を聞いて、子どもに合わせた個別支援計画を立ててもらえたとおもいます ・細かくアセスメントしていただき、子どもの不得意を中心改善している。 ・企画書に沿ってやってくれるのかと 	<p>支援が個別支援計画に基づいて実施されていることを、保護者の皆さまにもより実感していただけるよう、計画内容と日々の支援とのつながりを分かりやすくお伝えしてまいります。</p>
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・特性をよく見ていただき、設定してくださっていると感じます。 ・子供に無理なく確実に成長に繋がる計画をだして頂けていると思っています ・細かく話を聞いてくださり、必要な支援内容が書かれていました。 ・家族支援もしてもらっています ・具体的な内容は記入されています。 	<p>保護者やご家族からの聞き取りを大切にし、必要な支援内容を具体的に反映するとともに、家族支援の視点も含めた支援を継続してまいります。</p> <p>個別支援計画については、引き続き定期的な見直しを行い、より適切な支援につながるよう取り組んでまいります。</p>
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・良いと思う上記で記入したように、どのような支援しているか不明なことが多い。 ・計画通りにすすめていただきました。 ・具体的にはよくわからない ・第1に成長が見れている時点で信じています！ ・適宜状況を教えていただいているとスムーズですが、療育に通うごとに、成長を感じるので、個別支援が行き届いていると思います出来事による事も増え、しっかり支援していただいていると思います。 ・アミコードが使えて 	<p>療育を通して「できることが増えている」「成長を感じる」といったお声を励みに、今後も丁寧な支援を行ってまいります。</p> <p>一方で、支援の具体的な内容が分かりにくいというご意見を受け、計画と日々の支援とのつながりや、支援の範囲について、よりわかりやすくお伝えできるよう情報共有の方法を工夫してまいります。</p>
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも様々な活動を工夫されていて季節によって行事もあり良いと思います。 ・色々なことを経験させてもらっていると思います。 ・毎日様々な活動をしていると思います。 ・季節の行事などを上手にとりいれてお手紙などにしてお家に届くようにしてくれたりとても嬉しく思っています ・連絡帳での日何をやったか教えていただき、毎回違うのでいろいろな活動があることがわかります ・本人が飽きない短時間だったり、様子に合わせて対応いただけていると思います。 ・製作や遊び等発達に合わせて実施していただいている ・季節ごとのイベントは楽しそうにしています。 ・オウガキスアソブハハサウエアスアト用いガ 	<p>子どもの集中力やその日の体調、様子に応じて活動時間や内容を柔軟に調整し、無理なく楽しめる活動提供を心がけてまいります。</p> <p>活動内容については、連絡帳やお手紙等を通じて引き続き分かりやすくお伝えしてまいります。</p>
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	1	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり聞かることなく公園などで子供にあまり近づくことがないのでこばんまでお友達を作ることを頑張ってほしいです！ ・利用中の子どもは保育園と並行で利用しているが、施設が保育園などの施設との交流は別になくいいのかなって思います。 ・今のところはないかなと思いますが、わかりません ・幼稚園とも身近な友達とよく遊んでいます。 ・小学生が手話の発表をしてくれた。 ・東京以外あんまり交流はない 	<p>療育の場では子ども同士の関わりを大切にしながら無理のない形で友だとの関係づくりを支援してまいります。</p> <p>また、年齢や発達段階に応じた集団活動や交流の機会を通して、社会性やコミュニケーション能力を育む支援を継続してまいります。</p> <p>他施設との交流については、子ども一人ひとりの状況や負担を考慮し、必要性を見極めながら慎重に検討してまいります。</p>
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・あ伏みの連絡や給食費についてもお便りにしてわかりやすく説明されています ・分かりやすく説明していただきました ・面談時と書類作成時ののみ 	<p>面談時や書類作成時に限らず、日々の関わりの中でも必要に応じて情報共有ができるよう、保護者の皆さまとのコミュニケーションのあり方に工夫を重ねてまいります。</p>
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの際に丁寧に説明を受けました。 ・いつも丁寧にしてもらっています ・細かく話を聞いて下さり、今はどんな支援が必要なのかなどを説明していただきました。 	<p>モニタリングや面談の機会を大切にし、保護者の皆さまの思いや不安に丁寧に寄り添いながら、必要な支援内容を分かりやすくお伝えしてまいります。</p> <p>子どもの状況に応じた支援の見直しについても、引き続き十分な説明保護者の皆さまが参加しやすい形での学びや交流の機会について、保護者の皆さまの思いや不安に丁寧に寄り添いながら、必要な支援内容を分かりやすくお伝えしてまいります。</p>
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・公演会が遠いので近くであると良いと思います。 ・まだ参加出来ていませんが参加できる時は積極的に参加したいです ・全般的には定期的にあると思われます ・浜松南教室で月1くらいで保護者同士のお会話会があつたので、こちらでもあると嬉しいな、と思います。送迎利用だと他の保護者さんと会う機会がないので… ・ペアレントトレーニングの機会があれば参加したいです ・だいたいでいると思います。 ・送迎時やリトムに詳しく述べてくださるので、できていると思います。 ・小さな事で電話で伝える時も親身になって聞いてくれ理解してくれると思います ・送迎時や連絡帳を通して、療育中の様子なども教えて貰っている。 ・発達や特性についてはあまりなにもいわれない ・あんまりまだ言葉疊ねはできないかな 	<p>保護者の皆さまからのご相談については、小さなことでも気軽にお話ししていただけるよう、引き続き親身な対応を心がけてまいります。</p> <p>一方で、発達や特性について分かりにくいというご意見を受け、専門的な内容についても、分かりやすい言葉でお伝えできるよう工夫してまいります。</p> <p>子どものコミュニケーション疊ねが難しい時期だからこそ、支援の視点や関わり方に丁寧な説明を行ってまいります。</p>
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・面談、相談には丁寧に対応してもらっています。 ・連絡帳でのやり取りで丁寧してくれます ・日々の過ごし方であって、助言はないかと。聞いてもいなけれど。 ・通い始めて数ヶ月ですが、面談が一度あり、丁寧にお話ししていただきました ・面談の際や送迎時に相談にのってもらいアドバイスを頂くこともあります ・連絡の助言等はあまりない 	<p>日々の様子の共有にとどまり、助言が十分でないと感じられる場合があるとのご意見を受け、保護者のニーズに応じて、家庭での関わり方や支援の視点についても分かりやすくお伝えできるよう工夫してまいります。</p> <p>必要に応じて、保護者の皆さまが相談しやすく、助言を受け取りやすい関係づくりを目指してまいります。</p>
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園では出来ない事を聞く機会が多いのですが、ごはんさんでは出来た事を褒めて頂いて子供も楽しく過ごせていると思います。 ・子どもに合わせて、してくださっていると感じます。 ・先生だいすきです！ ・共感して、助言してもらっています 	<p>こどもや保護者の気持ちに寄り添い、丁寧な声かけや関わりを心がながら支援を行っています。今後も、こども一人ひとりの状況や思いを受け止め、共感的な関わりを大切にした支援に努めてまいります。</p>
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	3	0	1		

明等	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・参加したことがないので分からないです。 ・イベント参加させていただきました。 ・きょうだいがいないでわからない ・他保護者の保護も含めて、知人以外は交流がありません。 ・保護者会に参加しました。講演会はありましたが、親同士の交流ができませんでした。 ・そうゆうやつがない。個人面談のみ。交流の場がない 	<p>保護者同士の交流や情報共有の機会については、保護者会や相談の機会等を通して、段階的に実施を検討しています。</p> <p>また、きょうだいへの支援については、きょうだい向けの行事や交流の機会の必要性を踏まえ、今後の実施について検討してまいります。</p>
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・お返事が早い印象です。 ・相談内容をすぐに先生方で共有していただいていると感じました。 ・対応者がお休みだったりすると次の日にも連絡がなく忘れられないかな?と不安になることもあります ・早めに適切な対応をしていただいている。 ・相談でき、対応していただいていると思います ・聞いてはくれるが実行はされているのか、あんま意見が通ってないのが分からず 	<p>こどもや保護者からの相談や申入れについては、面談や連絡帳、電話等を通じて対応できる体制を整えています。</p> <p>また、相談の場については、面談時や日常のやり取りの中で周知・説明を行っており、相談や申入れがあった際には、内容に応じて迅速かつ適切に対応するよう努めています。</p>
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時、リトムで細かく伝えいただけていると思います。 ・欲を言えばもう少し細かく知れたら嬉しい ・意思の疎通は十分に取れている ・頑張って聞くようにはしています。何が伝えたいのかゆっくり聞いている感じです。 ・あまりそんな感じは、しないです 	<p>送迎時の声かけや連絡帳、面談等を通じて、こどもや保護者との意思疎通および情報伝達を行なうよう配慮しています。</p> <p>一方で、支援内容やこどもの特性に関する説明が十分でないと感じられるご意見もあることから、今後はより分かりやすく丁寧な説明を心がけ、情報共有の充実に努めてまいります。</p>
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	4	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページをあまり見ないので分からないです。 ・もう少し頻度が上がったら嬉しい! ・不定期でSNSに活動を載せてくださっている。 ・SNSでの発信頻度が少ないと思います ・写真などもっと載せてもらおうと嬉しい。 	<p>お便りや連絡帳等を通じて、活動概要や行事予定、連絡体制に関する情報をこどもや保護者へ発信しています。</p> <p>今後は、ホームページやSNS等も活用しながら、業務に関する自己評価の結果を含め、より分かりやすく情報提供ができるよう努めてまいります。</p>
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・おそらくしてくれているとは思います。 ・SNSなどで本人のお母さんくらいしかわからないんじゃないかな?くらいにモザイクを掛けられていたりお散歩など公園に行ってから日付をつけて紐づかないようにされてると思う ・SNSに活動写真を上げる際もきちんとモザイク処理していくべき ・書類に関しては、適切に保管してくださってると思います 	<p>個人情報の取扱いについては、関係法令や事業所内の規程に基づき、適切に管理しています。</p> <p>今後も、職員への周知や確認を継続し、個人情報保護に十分留意した運営に努めてまいります。</p>
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・利用するときに説明がありました。 ・避難訓練などもされていて出来ていると思います ・全部は知らないよな? ・説明は受けたが、訓練の実施については不明。 ・訓練実施できてると思います ・どこに避難するかが不明。 	<p>事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等に関する各種マニュアルを事業所内で共有するとともに、保護者に対して必要に応じて周知・説明を行っています。</p> <p>また、緊急時や感染症発生等を想定した訓練についても実施し、職員の対応力向上と安全確保に努めてまいります。</p>
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練が行われていますか。	18	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行われていると思います。 ・LINEや連絡帳でお知らせしてもらっています ・毎回参加している訳ではありませんが、避難訓練を実施してくださいましたりしています。 セキュリティーもしっかりしています。 ・訓練連絡は一応あり ・備えがあるのは不明。 	<p>非常災害の発生に備え、避難や救出等を想定した訓練を定期的に実施しています。</p> <p>今後も、こどもおよび職員の安全確保を最優先とし、訓練内容の確認や見直しを行いながら、継続的な実施に努めてまいります。</p>
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の車や施設の玄関など部屋にもあらゆる所に工夫が見られました ・行き慣れてる印象です。 	<p>子どもの安全を確保するための計画については、書面や面談等を通じて保護者へ周知しています。</p> <p>また、安全管理に配慮した体制のもとで支援を行なっており、今後も、こどもが安心して過ごせる環境づくりを行なっています。</p>
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・些細な事も様子を教えてくださっていると思います。 ・送迎時ではなく何かあった時すぐに連絡を貰えたらもっと良い 	<p>事故や怪我等が発生した際には、速やかに保護者へ連絡を行い、発生状況や対応内容について説明しています。</p> <p>今後も、保護者が安心できるよう、迅速かつ丁寧な情報提供に努めます。</p>
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	18	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも楽しく安心して通っていると思います。 ・いつも先生方に優しく対応していただき、安心感を持ってると思います。 ・送迎時泣けてしまう事もありますが先生に抱っこを求めていくで安心出来ていると思います ・初回より躊躇なく入っていけた。 ・いつも楽しく（そん）通所しています 	<p>こどもが安心感をもって通所できるよう、職員が一人ひとりの様子に配慮し、落ち着いて過ごせる環境づくりを行なっています。</p> <p>日々の間わりや支援を通じて、こどもが安心して過ごせている様子が見られています。</p>
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週楽しみにしています。 ・行ってしまえば楽しそうにしていますが、行くまでは幼稚園に行きました。 ・嫌がる事なく通所でできているので、楽しめていると思います。 ・泣けてしまったり泣いてしまう間に時間が掛かることもありますが行なったら楽しいとは思っていると好きだと思います！ ・車を降りて建物まで歩いたがたるので、楽しい場所を感じているのかなと思います ・毎回朝起きたる今日は行く日だと確認があり、行くのがわかるととても嬉しそうにしています。 ・いつもパン!楽しかったと言つてくれます。 	<p>通所を楽しみにしている様子が見られることが多い、活動や職員との間わりを通じて、前向きに通所できていると考えています。</p> <p>今後も、こどもが安心して楽しめる活動や間わりを大切にしながら支援を行なっていきます。</p>
	29 事業所の支援に満足していますか。	14	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・時間は延長してもらえると助かります。 ・特性に応じて丁寧に支援していただいていると思います。 ・いつも沢山感謝しています！これからもよろしくお願ひします！ ・幼稚園との面談の差があり、なんとも言えない。 ・先生たちの優しい言い方とかわかりやすいので今後も続けていきたいです。 ・子供の様子をしっかり見て、こちらにきちんと伝えて下さります。安心して預けさせて頂いてます。ありがとうございます。 ・もっと特性について苦手な部分を指摘してほしい ・支援内容が紙面上だけに感じ、子供に合った実際の支援内容 	<p>保護者からは、支援内容や職員の間わりについて概ね肯定的なご意見をいただいています。</p> <p>一方で、支援内容の分かりやすさや情報共有についてのご意見もあることから、引き続き、丁寧な説明や支援の充実を図りながら対応していきます。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こばんはうすさくら 浜松恩地教室				公表日 令和8年2月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	トイレや物品の収納など配置を工夫し、活動内容や人数に応じてレイアウトやパーテーションを調整することで、安全かつ広く使いやすい環境を整えている。		活動時にやや手狭に感じる場面があるため、部屋の配置や収納の使い勝手を見直し、より快適に過ごせる環境づくりに向けて改善を進めていく必要がある。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	職員は専門職を含めた適切な支援体制を確保している。利用人数や活動内容に応じて柔軟に職員配置を調整し、集団支援と個別対応の両立を図っている。		職員間の情報共有をさらに強化し、支援の質を均一化していくことが求められる。また、安定した人員体制を維持するため、人材の確保と育成にも継続して取り組む必要がある。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	導線を分かりやすく整理し、数字やイラストなどの視覚的な情報を取り入れることで、子どもが理解しやすい環境づくりを行っている。また、物を必要以上に置かず整理された空間を保つことで、見て分かる安全で快適な環境を整えている。		現時点では特定の障害に特化したバリアフリー化は行っていないため、今後も子どもにとって安全で分かりやすい環境づくりを進めていく必要がある。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	生活空間は、毎日子どもたちの帰所後に清掃・消毒を徹底し、玩具の消毒を行うなど、清潔な環境維持に努めている。		活動内容に応じた空間設定について、今後もその都度検証を行い、より安全で快適な環境となるよう継続して改善していく必要がある。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	現時点で専用の個別室は設けていないが、支援室内をパーテーションで区切り視覚的に配慮した空間を確保している。		専用の個別スペースがないため、より明確に落ち着ける環境を確保することが課題である。パーテーション対応にとどまらず、安心してクールダウンできる空間づくりを具体的に検討し、整備を進めていく必要がある。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	朝礼・終札を通して日々打ち合わせや振り返りを行い、職員間で情報共有を徹底している。毎日の終札ではその日の出来事を振り返り、対応や支援方法を検討するなど、通常業務の中で自然とPDCAサイクルが実践できている。ミーティングに参加できない場合も日報で共有するなど、全職員が参画できる体制を整えている。		日々の振り返りは実施できているが、目標設定や評価内容をより明確にし、記録として残す仕組みの強化が課題である。また、短期的な振り返りだけでなく、中長期的な視点での検証や改善計画の整理も必要である。全職員がより主体的に参画できるよう、意見を出しやすい環境づくりについても継続して工夫していきます。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	アンケート結果は職員間で確認し、話し合いの場を設けることで保護者の意向を把握し、業務改善につなげている。今後も継続して意見を反映し、より良い支援体制の構築に取り組んでいく。		評価表（アンケート）の結果を職員間で共有し、話し合いを通して保護者の意向を把握し業務改善につなげている。今後も継続して意見を反映し、より良い支援体制の構築に努めていく。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的にミーティングや児発管会議を実施し、出された意見は議事録に残して共有している。また、施設長との面談や朝礼・終札の場においても職員が意見を述べる機会を設けている。さらに、意見・提案BOXを設置するなど意見を出しやすい環境を整え、日々の話し合いを通して業務改善に努めている。		全職員が主体的に意見を出しやすい雰囲気づくりをさらに強化する必要がある。今後は、寄せられた意見を具体的な行動計画へ反映できる体制の充実を図っていく。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	現時点では第三者による外部評価は受けていないが、同法人の他事業所の運営指導が実施された際にもその内容を踏まえ、業務改善につなげています。		外部の視点を取り入れるため、今後は第三者評価の実施を検討し、より質の高い支援体制の構築に努めていく必要がある。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	動画研修の活用など受講しやすい環境を確保し、各自が積極的に研修へ参加している。外部研修については研修案内は掲示等により広く周知し、職員が自発的に参加できる体制を整えている。		研修機会は確保できているが、受講内容を職員全体で共有し、実践にどのように生かすかをより明確にすることが課題である。今後は、研修後の振り返りや成果の確認を行い、支援の質向上につなげていく体制を強化していきます。	
支援体制	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	支援プログラムは職員間で話し合いの上で作成し、その内容に基づいて支援を実施している。内容についても適切に検討を重ねている。		定期的な見直しや更新状況を明確にすることが必要である。今後は、作成から公表・見直しまでの流れを整理し、より透明性の高い運用体制を整えていく。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	連絡ノートや面談、送迎時のやり取りなどから得た情報を丁寧に収集し、子どもと保護者のニーズや課題を踏まえて児童発達支援計画を作成している。作成後は保護者に確認を得るなど、適切な手順で計画の策定・更新を行っている。		情報の整理や分析の視点を明確にし、客観性を高めることが課題である。また、記録方法を統一し、計画の妥当性を定期的に検証していく必要がある。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	原案をもとに担当者会議やミーティングを実施し、支援に関わる職員が参加して意見を出し合いながら検討している。定期的に全体ミーティングも開催し、幅広く情報を集めたうえで共通理解を図り、子どもの最善の利益を考慮した計画作成に努めている。		職員間での検討は行えているが、会議内容の記録や役割分担をより明確にすることが課題である。また、全職員が積極的に意見を出せる体制を強化し、多角的な視点をより取り入れていく必要がある。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	計画は個別ファイルに保管し、日々の記録とあわせて全職員がいつでも確認できる体制を整えている。計画内容や目標は職員間で共有し、個別記録にも反映させながら、計画に沿った支援を実施している。情報共有を図りながら、継続的な支援に努めている。		計画は共有できているものの、支援内容が計画と確實に連動しているかを定期的に確認する仕組みの強化が課題である。また、記録の書き方を統一し、達成状況や課題が誰でも分かるよう改善していく必要がある。	

適切な支援の提供	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	日々の行動観察については、終礼やミーティングで話し合いを行い、記録を残しながら情報共有している。必要に応じて関係機関と連携し、状況把握に努めている。また、アセスメントツールを活用し、WISC等も参考にしながら支援に生かしてます。	標準化されたアセスメントツールの活用について、実施方法や評価基準をより明確にすることが課題である。また、記録様式の統一を図り、フォーマル・インフォーマル双方の評価結果を体系的に整理していく必要がある。今後は、アセスメント結果をより具体的に支援へ反映できる仕組みづくりを進めていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	本人支援・家族支援・移行支援・地域支援等の視点を取り入れ、子どもの特性に応じた必要な支援項目を設定している。支援内容については職員間で話し合い、具体的な内容を定めたうえで共有し、日々の支援に反映している。	ガイドラインを踏まえて計画作成はできているが、各支援项目的目標をより具体的で評価しやすい内容にする工夫が課題である。また、家族支援や地域連携の視点も明確に記載し、実施状況を定期的に検証していく必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	活動プログラムは職員ミーティングにて月ごとに話し合い、チームで立案している。職員同士で意見を出し合い、子どもの状況に応じて内容を検討し、程度見直しながら最適化を図っている。マンネリ化を防ぐため、新しい活動も少しずつ取り入れるよう努めている。	活動内容のマンネリ化を防ぐため、外部研修や他事業所の取り組みを参考にし、新たな視点を取り入れることが課題である。また、実施後の振り返りを丁寧に行い、効果検証に基づくプログラム改善の仕組みを強化していく必要がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	月の営業日を踏まえて活動回数を調整し、内容が偏らないよう工夫している。毎月の振り返りを行い、活動が重複しないよう見直すとともに、新しい活動や季節に応じたプログラムを取り入れている。室内外の活動をバランスよく組み込み、特定の職員に偏らず全職員が均等に実施できる体制を整えている。	活動内容の幅は広がっているものの、子どもの興味や発達段階に応じたより細かなプログラム設定が課題である。また、活動後の効果検証を丁寧に行い、次の計画に具体的に反映できる仕組みを強化し、外部の事例も参考にしながら質の高いプログラムづくりを進めていく必要がある。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	朝の学習時間には個別支援を実施し、日中は集団活動や小集団での製作活動、屋外活動などを取り入れ、バランスの取れた支援に努めている。活動内容が偏らないよう配慮しながら、個々の特性に応じた環境設定を行っている。	個別活動と集団活動は実施できているものの、計画目標との関連性をより明確にすることが課題である。また、子どもに適した支援内容になっているかを定期的に検証し、必要に応じて活動の組み合わせや時間配分を見直していく必要がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援開始前には朝礼で打ち合わせを行い、その日の支援内容や役割分担を確認している。ホワイトボードを活用して1日の流れや職員配置を視覚化し、誰が見ても分かりやすい体制を整えている。職員同士で報・連・相を徹底し、チームで連携しながら支援を行っている。	事前の打ち合わせは行えているものの、確認事項が形骸化しないよう内容を充実させることが課題である。また、急な変更にも対応できるよう情報共有の精度を高め、振り返りと翌日の打ち合わせ内容をより具体的に結び付けていく必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼やミーティングの時間を設け、その日の子どもの様子や支援内容について振り返りを行っている。気付いた点や反省点を共有し、日報にも記録を残すことで情報の共有を徹底している。ミーティングに参加できない職員も日報を通して状況を把握できる体制を整えている。	振り返りは行えているものの、その内容が翌日の支援や計画の見直しにどの程度反映されているかを明確にすることが課題である。また、記録の書き方を統一し要点を整理して残す工夫が必要であり、振り返りを具体的な改善行動につなげる体制を強化していく必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	業務日報と個別記録を毎日作成し、記録を徹底している。日報担当と記録担当を分けるなど体制を整え、子どもの細かな変化や気づきを書き残している。記録内容は帰りのミーティングで振り返り、支援の検証や改善につなげている。	記録は徹底されているものの、記載内容のばらつきを防ぐために記録様式や記入の視点を明確にすることが課題である。また、記録を蓄積するだけでなく、定期的に整理・分析し、具体的な支援改善につなげる仕組みを強化していく必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半期に1度、定期的にモニタリングを実施し、児童発達支援計画の見直しを行っている。必要に応じて早期に見直しを行うなど、柔軟に対応している。モニタリングの結果は職員間で共有するとともに、必要に応じて関係機関とも連携し、適切な計画の修正につなげている。	見直し後の支援の効果を継続的に検証する仕組みを強化する必要がある。また、関係機関との連携内容も含め、より具体的な改善につなげていく体制を整えていく。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	サービス担当者会議や関係機関との会議には、原則として2名で参画している。事前に記録や個別ファイルを確認したうえで、施設長や児童発達支援管理責任者、日々支援に関わっている職員が参加している。子どもの状況を十分に理解した職員が出席し、適切に情報共有と連携を行っている。	会議には適切な職員が参加できているが、会議内容の共有をより具体的かつ迅速に全職員へ周知することが課題である。また、参加者が固定化しないよう体制を見直し、より多角的な視点を取り入れていく必要がある。今後は会議で得た情報を日々の支援に確実に反映させる仕組みを強化していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	電話や訪問、面談等を通して関係機関と継続的に連携を図っている。園訪問を行い保育・教育機関と情報共有を行なうほか、医療機関受診時には行動記録をまとめ、事業所での様子を丁寧に伝えている。必要に応じて相談支援事業所等とも連携し、関係機関と情報を共有しながら支援を行う体制を整えている。	連携内容を記録として残し、支援計画により具体的に反映できる仕組みを強化する必要がある。また、計画的で継続的な連携体制の構築に努めていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	併行利用や移行に向けて、年に1回以上の園訪問を実施し、情報共有と連携を図っている。必要に応じて電話連絡や文書でのやり取りも行い、子どもの様子や支援内容について相互理解に努めている。保護者の意向や本人の状況を踏まえながら園とも連携し、インクルージョン推進の観点から継続的な支援を行っている。	共有した情報が双方の支援にどのように反映されているかを確認する機会を設ける必要がある。また、保護者も含めた三者間での相互理解を深め、より継続的で具体的な連携体制の強化に努めていく。

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	就学時の移行にあたっては、年に1回以上の訪問を行い、小学校や特別支援学校との情報共有に努めている。必要に応じて電話や文書でのやり取りも行い、子どもの様子や支援内容について丁寧に伝えている。保護者の意向や本人の状況を踏まえながら関係機関と連携し、円滑な移行に向けた相互理解を図っている。	移行時の情報共有は行えているものの、共有内容の統一化や引き継ぎ資料の充実が不十分である。また、移行後の状況確認やフォローモードも計画的に実施する必要がある。今後は、学校側との事前打ち合わせをより充実させ、円滑な移行支援につなげる体制づくりを進めていく。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会など部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイスや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	必要に応じて関係機関に相談し、助言を受けるようにしているが、地域の児童発達支援センターとの継続的な連携は十分とはいえない状況である。	今後は、地域の児童発達支援センターとの連携を強化の方法を模索し、必要に応じてスーパー・バイスや専門的助言を受けられる体制づくりを検討していく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	現在は法人内の他教室との交流や、ファミリーコンサート、交通安全教室などで同一法人内の子どもと関わる機会は設けているが、地域の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流機会は十分ではない状況である。今後は、地域の中で他の子どもと活動する機会を検討し、必要に応じて交流の場を広げていくことが課題である。	地域の保育所や認定こども園、幼稚園等との具体的な交流機会が不足していることが課題である。交流の目的や方法を明確にし、計画的に機会を設定していく必要がある。また、安全面や子どもの特性に配慮しながら、無理のない形で地域とのつながりを広げていく体制づくりを検討していく必要がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時や連絡ノート、電話等を通して日常的に情報共有を行い、子どもの様子を丁寧に伝えている。直接伝えられない場合も連絡帳を活用し、状況が確實に伝わるよう努めている。必要に応じて面談の機会も設け、保護者と子どもの発達状況や課題について共通理解を図っている。	日常的な情報共有は行えているが、職員によって伝達内容に差が出ないよう、共有事項の整理や統一を図ることが今後の課題である。また、保護者の意見や不安をより丁寧に受け止める機会を計画的に設け、双方のやり取りを一層充実させていく必要がある。今後は、記録の活用や定期面談の充実を通して、より深い共通理解の形成につなげていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	現時点ではペアレン特訓・トレーニング等の家族支援プログラムは実施していないが、面談の機会を通じて助言や情報共有を行っている。また、年に1回保護者向けの講演会を開催しているが、参加者は多くない状況である。今後は、家族が参加しやすい支援プログラムや研修の機会を検討し、家庭への支援体制の充実を図っていく必要がある。	家族支援プログラムが未実施であるため、ニーズを把握したうえで具体的な内容を検討し、計画的に導入していくことが課題である。また、講演会等の参加率向上に向けて開催方法や周知方法を見直す必要がある。今後は、家庭が参加しやすい形式や時間帯を工夫し、継続的な家族支援体制の構築を目指していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	見学時や契約時に時間を設け、運営規程や支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明している。契約時には必ず説明の機会を設け、保護者に十分理解していただけるよう努めている。	変更事項があった際の周知方法についても、より分かりやすく丁寧に伝える体制を整える必要がある。今後は、資料の見直しや説明後のフォローを充実させ、より安心して利用していただけるよう努めている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談や送迎時、モニタリング等を通して保護者の意向を確認し、計画に反映している。子どもの意向についても日々の様子から読み取り、支援に生かしている。	子どもの思いや希望をより丁寧に引き出す工夫が十分とはいえない点が課題である。また、保護者の意向を確認する機会は設けているが、その内容をどのように支援計画へ反映したかを明確に伝える工夫が今後必要である。
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	児童発達支援計画を提示しながら内容を丁寧に説明し、保護者に確認していただいたうえで同意を得ている。主に児童発達支援管理責任者が直接説明を行い、理解を得られるよう努めている。送迎時等も活用し、計画内容を共有している。	説明の方法や内容に職員間で差が出ないよう、伝え方の統一や資料の工夫を行う必要がある。さらに、後日質問や意見を伝えやすい体制づくりも検討していく必要がある。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	連絡ノートや電話、送迎時のやり取りを通して日常的に相談に応じている。必要に応じて面談の機会を設け、助言や支援を行っている。定期的な面談も実施し、モニタリングを通して子どもの様子を共有しながら、保護者の悩みに対応している。	相談内容や助言の記録をより丁寧に残し、職員間で共有する体制を強化する必要がある。さらに、保護者が気軽に相談できる環境づくりについても継続して工夫していくことが求められる。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	家族参加型のイベントやファミリーコンサートは実施したが、保護者同士が十分に交流できる機会までは設けられていない。きょうだいが参加できる機会は一部設けているが、継続的な交流の場とはなっていない。今後は、保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会を計画的に設けていきたいと考えている。	保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会が十分ではないため、計画的に交流の場を設けていく必要がある。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談や申入れがあった際は、速やかに管理者へ報告し、職員間で共有したうえで適切に対応している体制についても保護者に周知し、安心して相談できる環境づくりを心掛けている。	相談対応は行えているが、受付から対応までの流れをより明確にし、保護者へ分かりやすく周知する工夫が必要である。また、対応内容や経過の記録を徹底し、再発防止や支援の質向上につなげていく体制の強化が課題である。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	インスタグラムや公式LINE等を活用し、活動の様子や行事情報を発信している。子どもの顔が写らないよう配慮しながら、日々の活動を定期的に投稿している。今後は更新頻度を見直し、より計画的に情報発信できるよう取り組んでいきたい。	情報発信は行えているが、更新頻度や発信内容にはつきがある点が課題である。今後は、定期的に発信できる体制を整え、活動概要や行事予定、連絡事項をより計画的かつ分かりやすく保護者に伝える工夫が必要である。

非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報を含む書類は鍵付き書庫やロッカーに必ず保管し、厳重に管理している不要になった書類や個人情報の記載がある紙はシュレッダーで処理するなど、個人情報の取り扱いには日々十分に留意している。	個人情報の管理は行われているが、書類の持ち出しや廃棄の手順をさらに明確に文書化し、職員全員に周知することが課題である。また、定期的に管理状況の点検を行い、取り扱いの徹底を継続的に確認する体制を強化する必要がある。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	専門用語を避け、なるべく分かりやすい言葉や口頭で伝えるようにしている。必要に応じて絵カードや視覚教材を用い、自分の気持ちを言葉で伝えにくい子どもでも意思が確認できるよう工夫し適切なコミュニケーションを図っている。	使用する教材や方法が職員間で統一されていない点が課題である。今後は、より分かりやすく伝えられる教材の整備や、全職員が共通して活用できる方法を検討し、意思疎通の質をさらに高める必要がある。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	今年度は開所したばかりで地域との交流は限られており、ふれあい交流センターの利用を通して高齢者と触れ合う機会を設けるなど、子どもが地域の人々と関わる場をつくる工夫を行っている。	地域の方との交流の機会が十分でないため、地域住民や施設との連携を強化し、子どもがさまざまな年齢層や環境の人々と関わる場を計画的に設ける必要がある。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	マニュアルはすべて策定しており、担当職員を決めて年4回以上の防災訓練を実施している。訓練の内容や実施状況は公式LINEで保護者にも周知し、職員全員がマニュアルに目を通して確認できる体制を整えている。	訓練やマニュアルの確認は行われているが、職員全員が内容を確実に理解し実践できているかを定期的に評価・振り返る仕組みが課題である。また、保護者への周知方法や理解度の確認もさらに工夫し、より確実に安全対策を浸透させる必要がある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定し、常に確認できる状態にしている。また、地震や火災など様々な災害を想定した避難訓練や引き渡し訓練を定期的に実施し、職員と子ども双方の安全確保に向けた対応力を高める工夫を行っている。	訓練やBCPの策定は行われているが、訓練内容や手順の理解度を職員全員で定期的に確認・評価する仕組みが十分ではない点が課題である。また、想定外の災害や緊急時の対応も含め、より実践的な訓練や改善点の振り返りを強化する必要がある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に必ず健康に関する確認を行い、保護者には健康調査票の記入や服薬状況、てんかん発作の有無などを確認してもらっている。確認した内容は職員間で共有し、支援に活かせるよう周知している。	契約時の健康確認は行われているが、内容の記録や職員間での情報共有の方法をさらに統一・明確化する必要がある。また、健康状態の変化があった際に速やかに更新・共有できる仕組みを整えることが課題である。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時に保護者からアレルギーの有無を丁寧に聞き取り、必要に応じて弁当持参や食事時の見守りなど具体的な対応を行っている。	契約時の聞き取りに加えて、書面での詳細確認や情報更新を定期化し、全職員で共有できる仕組みを整える必要がある。また、緊急時の対応手順も明確にすることで、安全性をより高められる。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	緊急時に落ち着いて対応できるよう、職員全員が手順を理解し、避難訓練を定期的に実施している。また、毎月点検箇所を決めて安全管理を行い、訓練や点検で出した改善点は職員間で共有しながら、教室環境や支援体制の安全性を高める工夫をしている。	安全計画の更新を定期化し、訓練・点検の結果を記録して改善を継続できる仕組みを整える。また、新任職員への研修を強化し、全員が同じ水準で対応できる体制を整える必要がある。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	年度初めの周知や契約時の説明に加え、公式LINEを活用して避難訓練の実施報告や緊急時の情報伝達訓練を行うなど、保護者との連携体制を強化している。	周知方法は整っているため、今後は安全計画や緊急時手順の内容を定期的に見直し、最新化する仕組みを整えることが必要である。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	定期的な振り返りや終礼でのヒヤリハット共有を徹底し、再発防止に向けた話し合いを行う体制を整えている。また、ヒヤリハット発生時には報告書の記載と全職員への共有を迅速に行い、打ち合わせやミーティングでも情報を回しながら施設長まで速やかに届く仕組みを構築している。	ヒヤリハット共有の体制は整っているため、今後は記録内容や対策の実施状況を定期的に確認し、改善の効果を検証できる仕組みを強化する必要がある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	職員全体で虐待防止研修や自己チェック、アンケート後の話し合いを継続して行い、日頃から虐待防止の意識を高める取り組みを実施している。	研修内容の実践状況を振り返る機会を増やし、未参加者も含めて全員が同じ基準で理解を深められる仕組みを整える必要がある。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	身体拘束が必要な場合には保護者への丁寧な説明と同意取得、計画への記載を行う体制を整え、日頃から身体拘束を避けた支援に努めている。	現在該当児童がいないため、対応手順の共有や理解度の確認を強化し、実際に必要となった際に全職員が適切に対応できるよう準備しておくことが求められる。